

奥池 (おくいけ)

位置図



諸元

貯水量	233.08 千m ³
満水面積	4.2 ha
受益面積	70 ha
堤高	13.2 m
堤長	165 m

坂出市街の南東部、国道 11 号線の金山トンネルを高松方面に抜けると、右側に奥池・新池という親子池が姿を現します。奥池は、城山と金山の谷間にある北峰地区（川津町峠ノ奥）に位置し、地名から「峠の奥池」とも言われています。かつては奥池の上流側に蓮池があり、奥池内には水田もありましたが、国道 11 号線の開通と平行して蓮池が埋立てられました。現在は中讃農業共済組合が建っており、地域の農業共済の拠点となっています。

また、奥池の下手に新池、更に南西 1.5 キロ下流に川池・尾池があります。奥池を含めたこの 4 つのため池は城山川で連なっており、奥池水利として奥池土地改良区が管理しています。

川池・尾池の下流の農地は古代条里制遺構の水田があることから、古くから城山川などの水を利用した天水田稲作をしていたと考えられ、谷間を山の方へと開拓を進め、谷間の上流部に奥池が築かれたと思われます。

奥池は築堤後、幾度も工事が行われてきましたが、近年では昭和 31 年（1956 年）に団体営老朽ため池整備事業により改修、昭和 47 年（1972 年）には県営老朽ため池整備事業が行われ、現在に至っています。



「峠の奥池」より飯野山を望む



奥池上流の景観